

特 集

コロナ禍における図書館

—図書館友の会けやきアンケート—

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、京都市図書館が臨時休館に入ったのは、2020年4月18日。コロナ禍でいつも通り図書館で本が借りられないなか、皆さんはどのように過ごされておりましたか？

図書館友の会けやきでは、コロナ禍における図書館利用の実態を知るためのアンケートを実施しました。9月初旬から10月中旬まで、左京図書館の館内で配布・回収したほか、左京図書館読み聞かせ交流会の参加者にアンケートへの協力をお願いするなどして、190人から回答を得ました。

アンケート結果とともに、京都市図書館のコロナ禍における6月までの対応の経過もまとめましたので、あわせてご覧ください。また、アンケートの声を左京図書館に届け、2020年春から秋にかけての図書館の状況について伺ってきました。これからの時代に、図書館に何を望み、どう利用していくのか、考えていきます。

◆京都市図書館における

新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた対応経過

2020年

- 3月1日 各図書館におけるイベント等の事業を中止
- 3月5日 館内に一定時間とどまることを必要とするサービスを休止
- 4月10日 館内での閲覧等は休止。予約資料の貸出は継続
- 4月16日 全都道府県に緊急事態宣言発令
- 4月18日 臨時休館。新規予約も休止
- 5月5日 送料利用者負担による予約資料の郵送貸出開始
- 5月16日 事前に日時を調整したうえでの来館による予約資料の貸出開始
- 5月23日 京都府休業要請解除
資料の貸出および返却等のサービスに限定して開館（9時半～17時）
- 6月1日 京都市立学校再開
新聞・雑誌の閲覧も含めた閲覧席の利用についても再開（席数は限定）
- 6月15日 17時以降の夜間開館を再開

◆アンケート結果

アンケート回答者・・・計190人

年代別内訳

10代	7人
20代	3人
30代	22人
40代	43人
50代	27人
60代	46人
70代	35人
80代	1人
不明	6人

1. 緊急事態宣言中にそれまでと比べて本を読む時間は変わりましたか？

- ①変わらない・・・81
- ②増えた・・・89
- ③減った・・・20

2. 図書館が休館中本を借りられないときはどのようにしていましたか？（複数回答可）

- ①紙の本を買って読んだ・・・79
- ②家にある未読の本を読んだ・・・115
- ③電子書籍を買って読んだ・・・15
- ④一度読んだ本を読んだ・・・78
- ⑤読まなかった・・・20

3. 予約資料の郵送サービスを利用しましたか？

- ①利用した・・・11
- ②利用しなかった・・・73
- ③郵送サービスを知らなかった・・・100

※利用した感想

- ・便利で助かった。
- ・有料だったが、すぐに送ってもらえて嬉しかった。

※利用しなかった理由

- ・郵送料が発生するため。
- ・送料で本が買える。
- ・料金がいくらかかるか分からなかった。
- ・急いでいなかったから。

4. 図書館の休館やサービスの変更情報を何で知りましたか？（複数回答可）

- ①ホームページ・・・122
- ②ツイッター・・・2
- ③図書館に来て・・・44
- ④口コミ・・・21

5-1. 臨時休館以降現在まで、以前より図書館へ来る頻度は変わりましたか？

- ①変わらない・・・104
- ②増えた・・・30
- ③減った・・・51

5-2. 以前と比べて図書館での過ごし方で変わった点があれば教えてください。

- ①滞在時間が増えた・・・11
- ②滞在時間が減った・・・101
- ③予約資料の受け取りのみ利用・・・30
- ④館内閲覧のみ利用・・・11

6. コロナ禍を踏まえて図書館サービスであつたらいいなと思うものを教えてください。（複数回答可）

- ①予約資料の郵送サービス・・・41
- ②返却ポストの増設・・・67
- ③本の消毒機・・・62
- ④電子書籍の貸し出し・・・32
- ⑤図書館以外で資料の受け取り・・・49
- ⑥ドライブスルー方式の受け取り・・・16
- ⑦デジタル機器で書架が見える・・・35
- ⑧オンラインでの講演会や催し・・・33

※③項の本の消毒機は、2020年12月から2021年1月にかけて各館に設置されました。

7. あなたにとって公共図書館とは？ また、これからの公共図書館のあり方についてご意見やご希望があればお聞かせください。

- ・いろいろな本が、偏りなくある図書館。
- ・歴史や文化について学べる講座ができれば嬉しいです。
- ・左京図書館でも自習を認めてほしい。
- ・子育て世代、経済的に厳しい中で、子どもに本を読ませてあげられて、感謝しています。
- ・司書さんが安定した雇用のもとで働き、充実した図書館のあり方を実現できることを望みます。
- ・本の福袋をまた実施してほしい。
- ・駐車場を完備してほしい。
- ・どんな状況下であっても、図書館は常に開けておいてほしい。
- ・今後、自分が老いていくことを思うと、もっと近くに図書館の予約本を受け取りに行ったり、返却に行ったりできる場所ができたらと思う。
- ・どこに行っても、図書館には安心して入ることができる。図書館員には、いつでもお役に立ちますよ、というスタンスでいてほしい。
- ・新たな感染症もあるかもしれない時代、デジタル化は避けがたいので、その方向での仕組みづくりが必要。
- ・コンサート、美術展などの催しのフライヤーを入手できる場所。
- ・地域の人々が集う場所であってほしい。

◆左京図書館にお聞きしました

11月2日 於：左京図書館

アンケートに寄せられた利用者の声を、左京図書館の市村館長と高見副館長に届けるとともに、この間の図書館の様子についてお聞きしました。

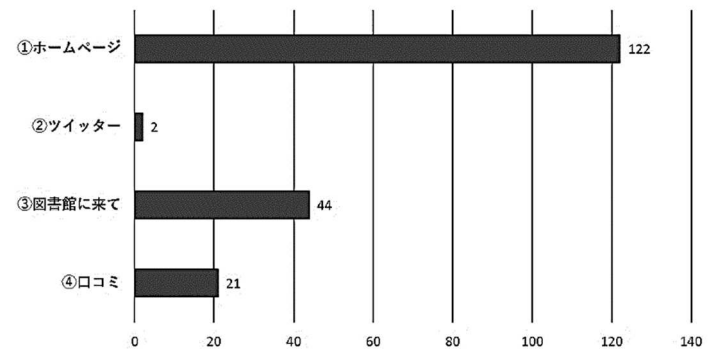
けやき：コロナ禍で、これまでにない対応を迫られていると思います。サービス変更に伴う問い合わせや、郵送サービスへの対応など、ご苦労されたことはありますか？

図書館：休業要請緩和を受けて、5月16日から22日まで、事前に来館日時をお知らせいただいたうえで、予約資料の貸出を行いました。15分に5人を目安に人数を制限して対応しました。ただ、利用者の皆さんは時間を正確に守って来館してくださり、混乱はありませんでした。

けやき：サービスの変更を知らずに来館される方も多かったのでは？

図書館：事前に連絡が必要であることを知らずに、開いているから立ち寄った方もいらっしゃいました。この期間以外も、図書館に来てはじめて図書館の状況を知る人がおられて、刻々と事態が変わる中で、どう情報を広く伝えていくのか、難しいと感じました。

4. 図書館の休館やサービスの変更情報を何で知りましたか？(複数回答可)



けやき：再開後、徐々にサービスを元に戻していくなかで、利用者からのクレームなどはありましたか？

図書館：新聞の閲覧を休止していた間は、早く新聞を読めるようにしてほしいというお声はありました。

けやき：来館者数は再開後、減りましたか？

図書館：再開直後は、休館前の7割ほどしか来館されていないという感触でしたが、10月以降は元に戻りつつあり、週末は幼児コーナーなどがにぎわうこともあります。

けやき：おはなし会などの再開は？

図書館：一部の図書館では人数を制限しながら再開していますが、左京図書館では幼児コーナーで再開するには人数制限の方法が難しく、まだ再開できていません(※)。

けやき：図書館を利用する側も、館内での感染防止のマナーを守っていききたいと思います。

※なお、左京図書館でも12月26日(土)におたのしみ会が試行的に実施されました。今後は状況を見て、実施を検討するとのことです。

◆図書館は「不要不急」!?

昨春、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全国のほとんどの公共図書館が一定期間臨時休館した。館内で本とともにゆったりとした時間を過ごしたり手に取って本を選び借り出すことができなくなり、図書館行事もすべて中止となったことが、図書館利用者にとって大きな痛手であったことは、このアンケートにたくさんの方が回答を寄せてくださったことから判る。

しかし、このような外出の自粛が要請され学校も休校となった時こそ、市民と本を繋ぐ公共図書館の役割は非常に大きいと思う。本の予約の継続や館外での予約本の受け渡し・郵送サービスなど、何らかの方法で市民に本が届くサービスを続けていただきたい。また、図書館未利用者や自宅に本をほとんど所有していない市民にこそ、この時期公共図書館は必要だ。市民の暮らしに必須!の地元の公共図書館のサービス情報を、あらゆるメディアが取り上げてほしいと思う。

コロナ禍に希望するサービスとして多くの人が挙げている「本の消毒機」は、うれしいことに年末から新年にかけて京都市全図書館に導入された。電子図書の導入も、府下では宇治市の図書館が3000冊購入したとの報道もあった。各家庭への図書館の蔵書のネット送信を可能にする著作権法の改正案も話題になっている。

長期の休館や入館制限を経験して、図書館のオンライン化は加速するだろう。しかし、あらゆる年齢層（特に子どもたち）の人々と本を繋ぐ場であるための、また本を仲立ちに人と人が出会う場としての、リアルでオープンな空間である公共図書館を、これまで以上に大事にしてほしいと願う。

(永井)

TOPICS

2020年度(第22回)

図書館友の会けやき定期総会 報告

2020年度の図書館友の会けやきの定期総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ニュースレター61号でお知らせしたとおり、会員のみなさまに活動報告・活動方針(案)・会計決算・予算書を郵送し、書面で可否のお返事をいただく形で実施しました。

締め切りまでに、事務局20名以外に16名の方からすべての議案に承認のお返事をいただき、否認のお返事はありませんでした。結果、承認いただいた2020年度活動方針・会計予算に基づき、活動を行っています。

しかし、新型コロナウイルスの流行が収束どころかさらに拡大する中、例年行っている活動のうち、大人向けの学習会や語りを楽しむ会などは、定員を半減し感染予防対策を徹底するなどして、流行の第2波と第3波の狭間に何とか無事実施することができましたが、赤ちゃん絵本ふれあいタイムやおたのしみ会(12月に司書さんのみで実施)といった子ども向けの行事は、まだまだ再開できる状況にありません。左京図書館のおたのしみ会に参加して21年、赤ちゃん絵本ふれあいタイムを立ち上げて16年、それぞれにけやき会員がボランティアスタッフとして関わってきましたが、突然の長期にわたる活動休止となりました。参加して下さっていた乳幼児とその保護者や子どもたちに、この状況下で何かできることはないか、模索しているところです。

例年、総会後に行っていました、図書館との懇談会とボランティア交流会も、残念ながらいまだ開催できていません。会員のみなさまからいただいた総会の書面によるお返事では、図書館やけやきの活動について、例年以上に多くのご意見・ご提案をいただきました。それらを図書館に届け、けやきの活動に反映させつつ、一日も早いコロナ収束の日を待ちたいと思います。

(永井)

第20回 おとなのための語りを楽しむ会

11月21日

11月21日(土)、秋も深まった日の午後、「おとなのための語りを楽しむ会」が開催されました。20回となる今回は例年と大きく異なる点がありました。新型コロナウイルス感染予防対策に努めたことです。会場の椅子は間を置いて並べ、換気の為にベランダのガラス戸や出入り口の戸は開けたままにしました。寒くはないかと心配でしたが、幸い暖かい「おはなし日和」となり、ほっとしました。もちろん参加者全員マスク着用ですが、語り手は口元が見えるように透明のマウスシールドを使用しました。

例年同様「京都おはなしを語る会」のメンバーによって語られたおはなしは8話です。人間が馬に変えられる不思議に満ちた話、役割を取り替えた夫婦の底抜けにおかしい笑い話、非業の死を遂げた男の骸骨が踊る話、「モーウ」という雌牛の鳴き声が聞こえてきそうな話、結末に思わずクスリと笑ってしまう話等々、日本やチェコ、アイスランド、イギリスの昔話に耳を傾けました。

残念ながら今回は少ない参加者でしたが、面白かったという声や、20年前の第1回で語った語り手にまた出会えたと驚く声も聞かれました。次回はマスク姿のないおはなし会となるよう、心から願っています。そして一人でも多くの方に、おはなしを耳で聴く楽しさ、心地よさを味わっていただけますように。(奥坂)

2020年度 左京図書館読み聞かせ交流会

毎秋、京都市左京図書館主催・けやき企画協力で開催する「読み聞かせ交流会・絵本入門講座」。16回目を迎えた今回は、コロナ禍での開催でしたが、3回の講座に、のべ69人の参加がありました。

第1回 子どもと楽しむ絵本の世界

講師 諸岡弘さん(JPIC読書アドバイザー)

10月2日

読み聞かせ交流会の1回目は、長年出版業界でお仕事をされ、その後、書店での読み聞かせを中心に活動されている諸岡弘さんのご講演です。

まずは、あいさつ代わりにミニおはなし会。CDに合わせて「はじめまして」(新沢としひこ作)で自己紹介をした後は、拍子木を打って紙芝居のはじまりはじまり。流ちょうな?関西弁で「おならまんざい」(長谷川義史作)を披露、テンポよくプログラムが進んでいきます。

続いて、集団への読み聞かせのポイントを説明してくださいました。選書は年齢、場所に合った本を選ぶのが基本。本に記載されている対象年齢は参考程度に、実際に読んで、どの年齢の子どもに合うのか自分で確かめてほしい。子どもたちの反応は予測がつかないので、一応プログラムは作ったうえで、プラスアルファの本も用意して、状況によって本を変えられるようにすると、読み手の心に余裕ができるとのことでした。みんなに受けようと思わず、「よかったら一緒に楽しんで」という謙虚な姿勢で子どもの前に立てばよいとアドバイスがありました。

けやきの
本棚

No. 62

9歳の人生

ウィ・ギチョル作 清水由希子訳

河出書房新社 2004年

あなたは、今、幸せにいらしています。お金があって、立派な家があります。それがもし、びんぼうでボロボロの家だったら

どうでしょう?もちろん、くらい気持ちになるに決まっています。けれど、「ぼく」は、どんなこともポジティブに考えるのです。すると、どんなにつらく、しんどい日々でも楽しく思えてくるのです。くらい気持ちのときに読むと自信がでるので、ぜひ読んでみてください。(小6 S・F)

ボランティアとして、どのようなスタンスで活動すればよいのでしょうか。諸岡さんは「無理をしないこと」が大切といます。プロではないのだから、自分ができる範囲で、自分に合った本を読めばいい。ただし、好きな本ばかり読んでいては偏りが出るので、図書館で気になる本を借りて、家で何度も練習をして、レパートリーを増やす努力も必要だということです。

参加者からは高学年にどのような本を読むとよいか、質問がありました。高学年だから長い物語をと考えず、文章の多い絵本や詩を読んでもいいし、本の一部だけを紹介して興味をもってもらうこともよいのではと、アドバイスがありました。

『「今度、いつ来るの？」と聞かれたら、最高やね』と諸岡さん。肩ひじ張らない読み聞かせに対する姿勢に、本と子どもへの厚い信頼を感じました。(澤田)

第2回 前半 やってみよう！読み聞かせ

講師 神田千砂さん（左京図書館司書）

後半 科学絵本・科学読み物ブックトーク

～月を見上げて～

講師 島崎真紀子さん（京都科学読み物研究会会員）

10月9日

読み聞かせ交流会の2回目は、左京図書館司書の神田さんによる「やってみよう！読み聞かせ」、京都科学読み物研究会の島崎さんによる「ブックトーク 月を見上げて」の2本立てです。

「やってみよう！読み聞かせ」では、読み聞かせの基本的なことを教えてもらいます。読み聞かせに向いている本、

持ち方、ページめくりとセリフのタイミングなどのコツ等々。それらを「うさぎ」をテーマにした絵本を使って講座を展開していただきました。「うさぎ」と「月」！しゃれてるなあ。今回も楽しみながら、読み聞かせの基本に立ち返ることができました。

「ブックトーク 月を見上げて」では、今回も自分一人では勉強しきれないほどの本を紹介してもらえて、とても為になりました。

最近の本は大きな写真や絵がふんだんに使われ、見て理解する本が多い印象です。「月のふしぎ」という本は表紙の絵が美しく、島崎さんはリビングに飾っていたとのこと。科学の絵本を飾ることができるのかと思い、違った視点で絵本選びができそうです。

本に載っていたので試してみた、と望遠鏡や月のクラフト工作を作製してくださったり、ボールを使って地球と月の距離を感じさせてくれたりと、実際の読み聞かせの時に子どもたちが興味を持ってくれそうな実演も盛りだくさんでした。

参加者のアンケートによると、皆さん月に関する本の多さに驚き、月を見るのが楽しみになった、読み聞かせに役立ちますなど、楽しく実りある時間を過ごされたようでした。(山田)

第3回 小グループに分かれて絵本の読み語り実践交流

10月13日

読み聞かせ交流会3回目は、小学校で読み聞かせの活動をしている人達が互いに絵本を読み合う実践交流です。

前半は、14名が3つのグループに分かれ、一人10分程

カレンの台所

滝沢カレン文・料理 サンクチュアリ出版 2020年

不思議な日本語を操って独特の世界観を生み出しておられる滝沢カレンさんのお料理レシピ本です。この本でもその魅力は遺憾なく発揮されています。玉ねぎを切ると涙が出るのは「目

つぶレスプレー」を出してきているからとか!？ 材料をキャスト、調味料をスタッフと呼び、料理を一つの物語として調理工程を語っています。お料理することがとても好きなのだろうなと感じられます。料理もですが、ぜひ、音読してほしい本です。

(左京図書館 岡部)

度の持ち時間で、活動歴や選書の理由を述べ、絵本を読み、その後、本の感想や絵の見え方、めくり方、間の取り方など気付いたことや疑問に思ったことを話し合いました。読み手は、大人の前なのでとても緊張しますが、聞き手は、読んでもらう楽しさを存分に味わいました。「自分で読むより、こんなにいい話だったと改めて感じた」、「あまり手にとらなかった本が、読んでもらって好きになった」などの感想も出ました。

後半は、全員集合して各グループで読まれた本や話し合われた内容を発表し、共有しました。好きな本、季節物、子ども達と掛け合いが楽しめる本等が揃いました。また、「方言」や「指差し」について、次のような活発な意見交換となりました。

「方言で書かれている絵本のイントネーションが難しいが、どうしているか？」では、「好きな方言で読んでくださいと公言している作家さんはいるが、基本は文章通り読むのが良い」、「多少イントネーションが違っていても、物語の世界を楽しんでいる子ども達は気にしないと思う」。また、「一部にコマ割りや絵だけで表現している部分の読み方は？」については、「指差しをして、物語の理解を深めたらいいのではないか」、「ただ、あまり指差しで補ってしまうと想像して楽しむことを妨害してしまう可能性もある」、「正解はないので、対象年齢や子ども達の様子などケースバイケースで対応しよう」など。

最後に各学校での活動場所、時間帯、コロナ禍での現在の活動状況、選書方法などの情報交換ができました。そして、今後も経験を重ね、より楽しい時間を子ども達に届けられますようにと願って終わり、有意義な時間となりました。(山口)

けやきの活動記録

2020年9月～2021年1月

2020/9/25 令和2年度第1回ボランティアグループ連絡会出席
10/2「読み聞かせ交流会」第1回開催
10/9「読み聞かせ交流会」第2回開催
10/13「読み聞かせ交流会」第3回開催
11/21 第20回「おとなのための語りを楽しむ会」開催
2021/1/15 ニュースレター62号印刷・発送

<図書館おたのしみ会に協力> (第4土曜日)

中止

<絵本学習会> (第4金曜日、3,7,12月は第2金曜日)

2020/7/10、9/25、10/23、11/27、12/11

<事務局会議><図書館とのミーティング>

2020/8/7、9/4、10/9、11/2、12/14

2021/1/8、1/15

<「赤ちゃん絵本ふれあいタイム」サポーター活動>

(毎週木曜日 10:30～12:00)

中止

きたきた捕物帖

宮部みゆき著 PHP研究所 2020年

岡っ引き見習の少年北一が、のちに相棒となる喜多次と出会い、亡くなった親分のおかみさんや周りの人たちの助けを借りて、事件や不思議な出来事を次々と解き明かしていく。最近、

人の心の奥深く潜む暗い部分を描いて読後辛い作品が多かった著者だが、この物語には正真正銘の悪人は登場せず、コロナ禍、外出もままならず鬱々と過ごしていたときに、ほっこり和やかな気持ちにしてくれた。(会員 M・N)

図書館友の会 けやき の仲間になりませんか

知りたい 調べたい 本の世界を楽しみたい

そんな私たちの望みをかなえ 一人一人の世界を豊かにしてくれる場所

それが私たちの願う図書館です

京都市左京図書館が市民みんなの図書館としていきいきとあり続けるために、私たち市民利用者は何ができるのか考え、活動したいと1999年に「けやき」を立ち上げました。図書館のスタッフとともに、左京図書館はじめ京都市図書館を支え、育てていきませんか。

次のような活動をおこなっています

であいの森

左京図書館のおたのしみ会（毎月第4土曜日 11:00）に協力。
絵本を読んだり、ブックトーク・人形劇やおはなしも。

「赤ちゃん絵本ふれあいタイム」サポーター

毎週木曜日 10:30～12:00、左京図書館絵本コーナーで絵本探しのお手伝いをしたり、絵本を読んだりしています。

誰もが利用できる図書館を考える

図書館の現状を調べ学び、図書館に提案をしています。

ニュースレター編集部

友の会のニュースレター「けやき」を作成し、図書館と利用者を結ぶけやきの活動の情報を発信しています。

事務局

けやきの活動の企画提案。図書館行事に企画・協力。各グループ間や左京図書館との連絡調整を行っています。

絵本学習会

毎月第4金曜日 10:00～。取り上げた絵本をみんなで読み合い語り合う楽しい学習会です。

講演会・学習会

主催または図書館との共催で年に数回、地元の講師を中心に様々な興味深い講演会・学習会を行っています。

◆入会希望の方は年会費500円をそえ、下記郵便振込口座にお申し込み下さい。活動費の寄付も歓迎。

郵便振込口座 口座番号 00920-8-156914 番
口座名称 図書館友の会 けやき

◆入会・活動への参加などお問い合わせは下記の事務局へメールで。

◆図書館友の会けやきホームページをぜひご覧ください。
ニュースレターのバックナンバーも掲載しています。

けやき情報版

翻訳家 石井登志子さん講演会 ～リンドグレーン その人と作品に魅せられて

日時：2021年2月13日（土）午後2時～午後4時

会場：ひと・まち交流館京都

3階第4会議室（河原町通五条下る東側）

昨年3月に開催を予定していた中止になった本講演会を、会場を変えて開催します。2021年講演会申し込みをされた方には、個別に連絡しておりますが、まだ連絡がつかない方、お返事がない方がいらっしゃいます。お手数ですが、今回の講演会への参加・不参加を下記までご連絡ください。なお、新たな募集は行いませんので、ご了承ください。

再延期

京都市左京図書館 Tel.075-722-4032

図書館友の会けやき info@totomo-keyaki.com

図書館で発表会

毎年恒例の「図書館で発表会」。図書館の資料を活用した成果を、左京図書館で展示してみませんか？子どもの自由研究や手芸、絵や写真、旅行プランなど、図書館で展示できるものなら何でもOK。たくさんのご応募をお待ちしています。

開催期間：2021年2月12日（金）～3月14日（日）

作品受付・募集期間：2021年1月6日（水）～2月10日（水）

詳しくは、左京図書館へお問い合わせください。

編集後記

アンケートを実施したのが、昨年の9月から10月。感染者数が減少し、自粛していた催しが徐々に再開され、少し気持ちが前向きになってきたころでした。緊急事態宣言中のことを振り返る余裕があったのです。そしてまた、状況は深刻さを増しています。コロナをきっかけに明らかになった問題を、今後どう生かしていくか、引き続き考えていきたいと思います。（澤田）

秋に開催された読み聞かせ交流会。その一環のブックトークでは当日の紹介本や関連本を終了後すぐに貸出できるよう、図書館に準備頂いています。今回も会場のブックトラックに約50冊が並び、参加者が楽しそうに選んで行かれました。毎年の和やかな光景でしたが、今回は改めてこういった機会の大切さに思い至りました。公共図書館で、誰もが、いつでも、多様な機会に本に出会えること。その意義の深さを思います。（島崎）

◇けやき 第62号 2021年1月15日

◇制作 図書館友の会 けやき ニュースレター編集部
題字：吉政 富美子 デザイン：伊藤 理恵子

◇発行 図書館友の会 けやき

HP : <http://totomo-keyaki.com>

Mail : info@totomo-keyaki.com